



●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しく下さい。

■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。

- ・下地部材(縦)の上部に張付けてあるコーキングシーラーが、下地部材(上)の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
- ・ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

■部品一覧表

㊦	㊧	㊨	㊩	㊰(片入隅用のみ)	㊱	㊲(ボックス省スペース片入隅用のみ)
ナベタッピンねじφ4×65	プッシュボタン	ナベタッピンねじφ4×100	なべドリルねじφ4×13	補強板(上)	補強板(下)	補強板(上) (ボックス省スペース用)

■組立て上のおお願い

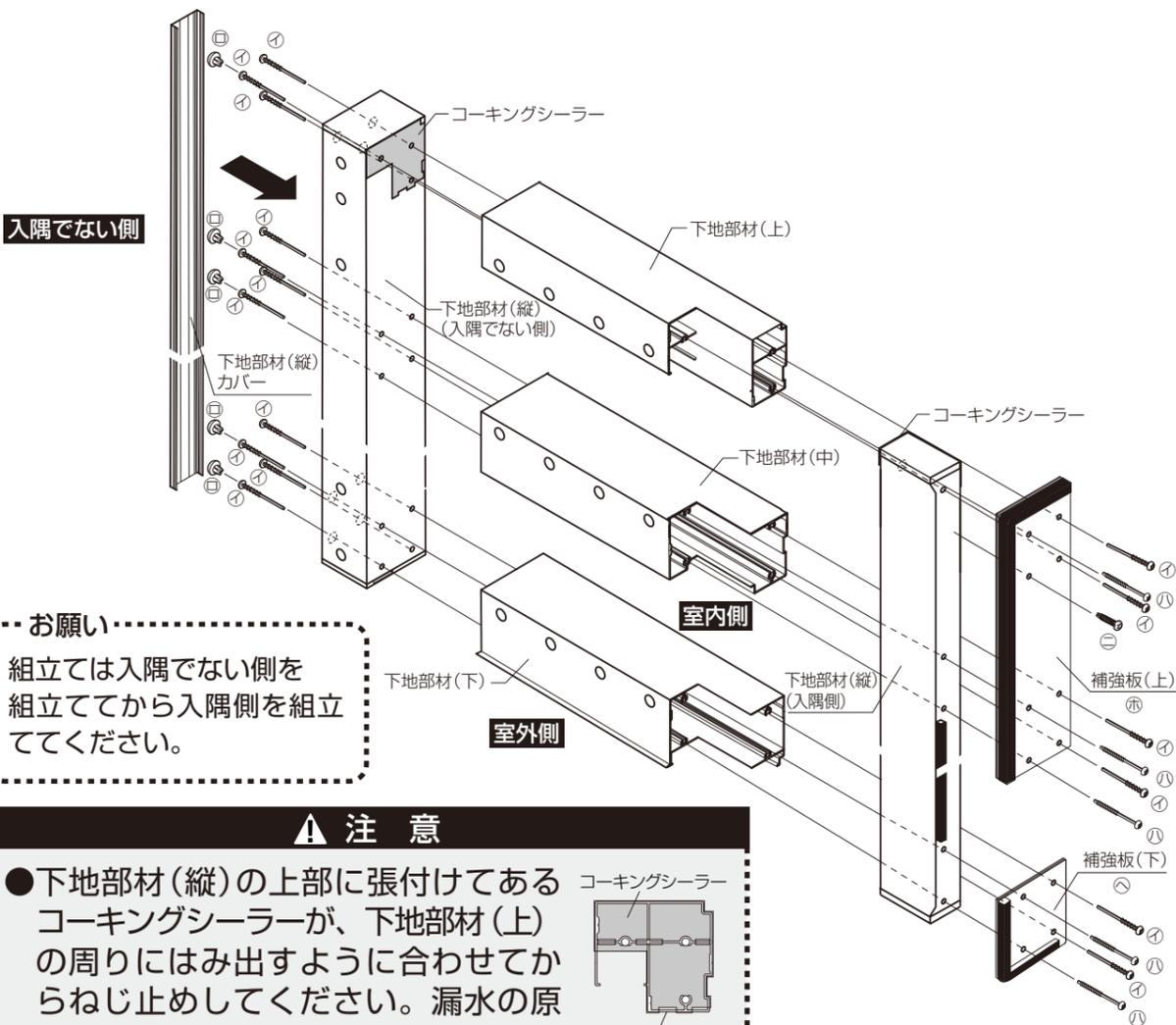
- 必ず指定の組立てねじを使用してください。
- 下地部材の取付けは、「下地部材 取付け説明書」をご覧ください。

■下地部材の組立て

■片隅用 下地部材の場合

※本図は外観右入隅仕様です。外観左入隅仕様は本図と対称になります。

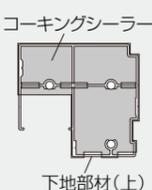
- 室内側・室外側の向きを合わせて下地部材(上)、(中)、(下)の順にねじ止めします。(大きい穴(φ11.5)がある方が室外側です。)
- 組立ては入隅でない側を組立ててから入隅側を組立ててください。
ねじ止め後、下地部材カバーを入隅でない側の下地部材にはめ込みます。



お願い
組立ては入隅でない側を組立ててから入隅側を組立ててください。

▲注意

- 下地部材(縦)の上部に張付けてあるコーキングシーラーが、下地部材(上)の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。漏水の原因になるおそれがあります。

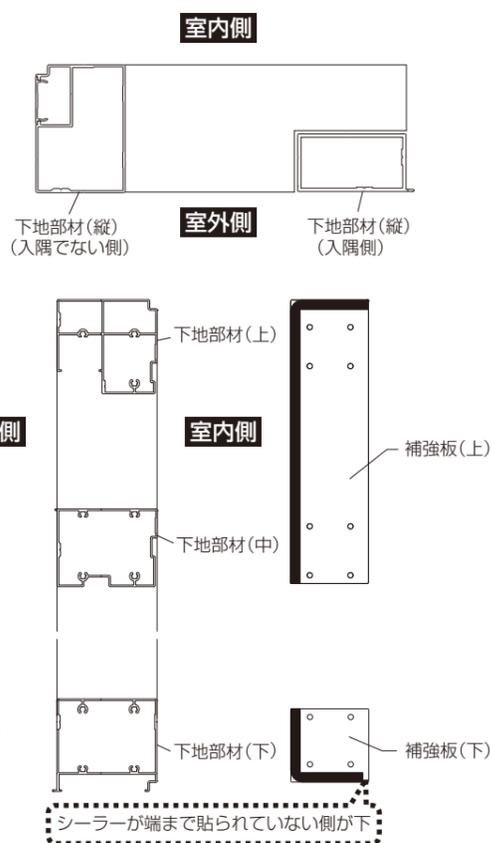
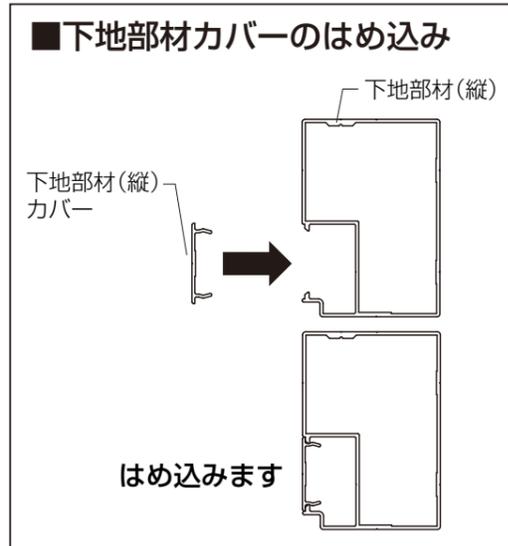


▲注意

- ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。漏水の原因になるおそれがあります。

お願い

- 組立て後、各部材の室外側面が面一になっていることを確認してください。



■ボックス 省スペース片入隅用下地部材の場合

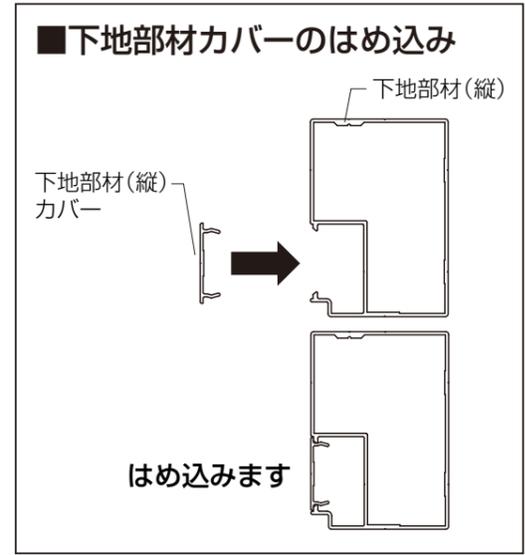
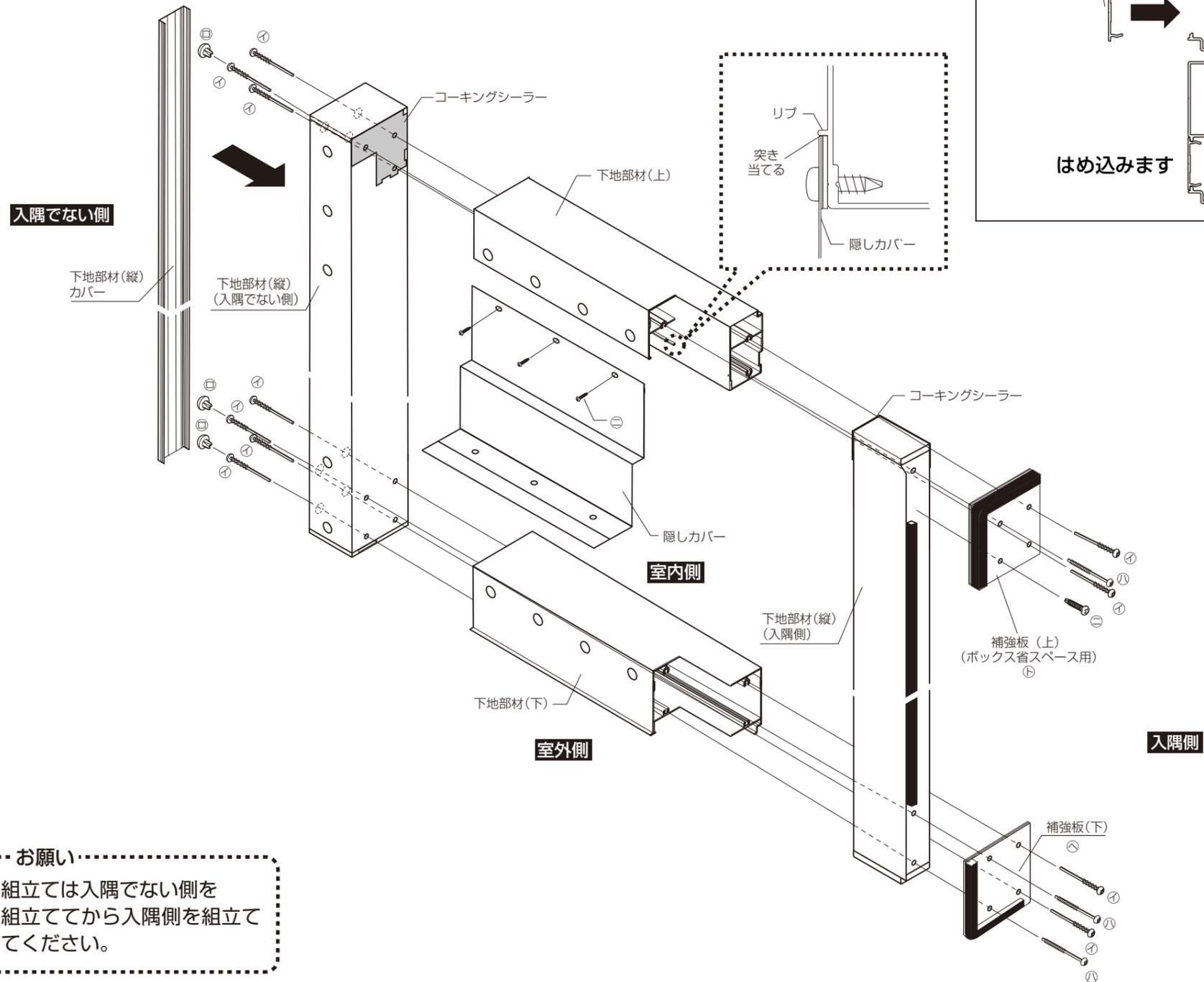
※本図は外観右入隅仕様です。外観左入隅仕様は本図と対称となります。

①室内側・室外側の向きを合わせて下地部材(上)、(下)の順にねじ止めします。(大きい穴(φ11.5)がある方が室外側です。)

組立ては入隅でない側を組立ててから入隅側を組立ててください。

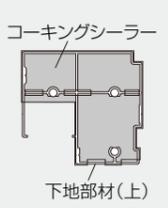
ねじ止め後、下地部材カバーを入隅でない側の下地部材にはめ込みます。

②下地部材(上)のリブに隠しカバーを突き当て、左右のチリを合わせた後、⊖ねじで固定します。



お願い
組立ては入隅でない側を組立ててから入隅側を組立ててください。

注意
●下地部材(縦)の上部に張付けてあるコーキングシーラーが、下地部材(上)の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。漏水の原因になるおそれがあります。



注意
●ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。漏水の原因になるおそれがあります。

お願い
●組立て後、各部材の室外側面が面一になっていることを確認してください。

お願い
●組立て後、運搬時には隠しカバーがバタつかないように、テープ等で仮止めしてください。

